



本校は「考えるを、学ぶ。」をスローガンに、学力と人間力を高め、社会に貢献する人材を育成する学校をめざしています。本年度は、13期生(73名)を迎え新しいスタートを切りました。生徒と教職員が共に成長し続け、常に進化し続ける東洋大学附属姫路中学校のさまざまな取り組みや最新情報を「TOYO NEWS」としてお届けします。

卒業生からのメッセージ

神戸大学・東京大学大学院へ進学！



吉井 舞耶さん(7期生)

神戸大学 海洋政策学部

「一歩踏み出す勇気と先生への信頼が、あなたの可能性を広げます。」

中学からの探究活動を土台に、高校では神戸大学の次世代科学者育成事業である「ROOTプログラム」での研究を経て、神戸大学合格を掴みました。成功の秘訣は、先生方を信頼し、学習に取り組んだことです。不明点はすぐに質問し、勧められた勉強法は愚直に実践してみてください。

中学時代から興味の幅を広げ、先生を信じて一歩踏み出すことが、皆さんの夢を叶える大きな力になるはずです。



村瀬 弘志さん(3期生)

東京大学大学院
人文社会系研究科
言語学研究室進学

「問いを深め、世界を広げた6年間」

東洋大姫路での6年間、特に「キャリア・フロンティア」での活動を通じ、自ら課題を見つけ答えを導き出す思考力や、計画的に取り組む実行力が身につきました。これが自身の可能性を広げる大きな武器になったと確信しています。

転機は高校時代の恩師との出会いです。英文法を言語学の観点から深く解説する授業に魅了され、歴史への関心も相まって、大学ではベルシャ語を専攻しました。そして、中学2年生のときの担任の先生から贈られた「質問はその人のレベルを表す」という言葉は、今も私の座右の銘です。安易に答えを求めず、質の高い問いを立てる姿勢を忘れずに、大阪大学での学びを経て、東京大学大学院での研究に邁進したいと思います。

中学生徒会 活動報告

古紙のリサイクルに取り組んでいます！

中学生徒会では、EPSON・COOPこうべと連携し、昨年度より古紙のリサイクルに取り組んでいます。神戸市西区役所玉津支所内にある「玉津ラボ」を利用し、校内で回収した古紙から東洋オリジナルメモ用紙を作成しました。作成したメモ用紙は、4月10日に行われた対面式にて新入生にプレゼントされました。このように生徒会では、SDGsの観点から、資源の循環や、そこからさらに価値を加えたアイテムを作り出すアップサイクル活動に取り組んでいます。

新入生の学年色である青色で、メモ帳を150部製作しました。当初は印刷のムラがあることや、背表紙を合わせてきれいに製本することに苦戦しましたが、コツを共有し生徒会のみんなで協力することで無事に完成させ、大きな達成感が得られました。この経験を通じ、普段何気なく手にしている紙一枚を作る大変さを実感するとともに、資源を無駄にしてはいけないということを改めて深く認識することができました。 生徒会長 須々木 遥 (中3)

私たち生徒会は神戸市にある玉津支所を訪れ、紙について学ばせていただきました。紙一枚の製造にはペットボトル一本分の水と木が必要だということを知り、身近な紙が環境問題に深く関わっていることに驚きました。さらに、学校で出たプリントなどの古紙を使い再生紙を作りました。再生紙は木を伐採する必要がなく、森林伐採やごみの排出量の削減に繋がります。これを機に、より一層環境問題について目を向けようと思いました。 副生徒会長 普天間 すず子 (中2)



◀ 玉津ラボを利用する様子



◀ メモ用紙を製本する様子



◀ 対面式の様子

完成したメモ帳



“考える”を学ぶ「キャリア・フロンティア」の取り組み


東洋大姫路の特徴的な教育プログラム「キャリア・フロンティア」では、「自ら考え、自ら選択し、自ら行動する」ことを念頭に置いた教育に取り組み、確かな学力と豊かな人間力を身につけます。2025年度に実施されたグローバルの取り組みを中心に紹介します。

哲学

探究 グローバル


海外語学研修

オーストラリアとカナダで英語や異文化を学ぶ！

 3月7日(土)～20日(金)の14日間、高校1年生がオーストラリアで海外語学研修を実施しました。生徒たちはアデレードとケアンズに分かれ、それぞれの行程で学びを得ました。

【アデレード】アデレードに行くまでは自分の英語が伝わるのか不安でしたが、積極的に話すことで現地の方々と楽しく会話することができました。ホームステイは緊張しましたが、温かく迎えていただき、安心して過ごせました。今回の経験を通して英語は受験のためだけでなく、コミュニケーションツールとして身につけるべきだと感じました。 森本 怜那 (高2)

【ケアンズ】人生初の海外渡航。自ら積極的に発言することでホストファミリーやバディーと楽しく会話できました。また、湖の周りの雄大な森林を歩いたり、動物園でカンガルーやコアラと対面したりするなど、日本でできないような体験をすることもできました。この経験を、異文化理解や自身のコミュニケーション能力向上に役立てていきたいです。 八杉 周慈 (高2)

 3月8日(日)～3月17日(火)の10日間、カナダのボドウェル・ハイスクールで短期留学を実施しました。

カナダでの短期留学では、英語やジェスチャーを使いながら現地の方々と話したり、一緒に生活したりするなどの貴重な体験ができました。英語を聞き取れないことや、うまく喋ることができないことから、不安にもなりましたが、日を重ねるごとに現地の方々が喋る速さに慣れていき、不安が自信に変わりました。これは、教科書には載っていない学びだと思います。この経験を通して積極的に挑戦することの重要性を学び、これからの学校生活でも大切にしていきたいです。 小野 遼太郎 (中2)



◀アデレード



◀ケアンズ



◀カナダ

英語暗誦大会 (中1) 3/9

英語の表現力を向上！

クラス予選で選ばれた15名の代表者が、日頃の研鑽の成果を存分に発揮し、聴衆をぐっと引き込むすばらしい暗誦を披露しました。

私は英語の暗誦大会で3位になることができ、とてもうれしかったです。英文を覚えるのに苦労しましたが、父に発音や読み方を教えてもらいながら頑張って練習しました。努力して覚えたことによって、最後まで諦めずにやり抜く力を身につけることができたと思います。今回の貴重な経験を活かして今後も努力を続けたいです。 河本 希織 (中2)



All English Days (中2) 3/10、11

楽しく英語に親しむ！

東洋大学と近隣校の外国人講師とともに、2日間英語のみで過ごすことで、海外の多様な文化への理解を深めました。

はじめは、2日間英語だけで過ごすことに抵抗がありました。しかし、外国の先生方と話すうちにどんどん楽しくなり、自分が思っている以上に英語が話せるということに気が付きました。普段日本語で喋っている内容を英語に変えて、相手に伝わるように話すことはとても難しかったですが、この経験を活かして英会話の授業で積極的に発言するなど、将来に役立てていきたいです。 白形 妃 (中3)



オンライン国際交流 (中3) 3/9～11、3/13

世界の友達と交流！

5～6人のグループに分かれ、海外生徒とZoomで交流する4日間。お互いに学校や文化を紹介し合うだけでなく、SDGsに関するディスカッションも英語で行いました。

オンライン国際交流では、講師の方のアドバイスもあって、日本と海外の間にある文化や価値観の違いを楽しく学ぶことができました。海外の生徒と交流する中で、意見や感情を伝える会話のコツを知り、英語を学ぶ大切さを実感しました。今回の体験で、より人に意見を伝えるための英語力を身につけたいと思いました。 芦田 晴 (高1)



入試関連イベントのご案内 (2027年度入試の変更点についてもお知らせします。)

- ◇ 第1回学校説明会 6月20日(土) 9:30～11:00
- ◇ オープンスクール 7月25日(土) 9:30～12:00
- ◇ チャレンジングリッシュ 8月17日(月)～19日(水) 10:00～11:30
- ◇ 第2回学校説明会 9月5日(土) 9:30～11:30
- ◇ 入試問題解説会 10月10日(土) 9:30～12:00



イベントの詳細はQRコードから！

発行：東洋大学附属姫路中学校
〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699
TEL (079)266-2626 (中高共通)